

iPhone/iPad対応アプリ「ロケットと火薬の歴史書」リリースのお知らせ

イーブック・アソシエーション・ジャパン株式会社ではこの度、iPhone/iPad対応アプリ「ロケットと火薬の歴史書——その起源から近代的ロケットの誕生まで」をリリース致しました。

iPhone/iPad対応はもちろんのこと、Amazon Kindleにも対応。電子書籍のプロフェッショナルとして、電子書籍の企画～販売までを一手に担うEbAJは、今後も新たな電子書籍体験を世に問い、積極的に市場拡大を推進してまいります。

◆書籍概要

書名：ロケットと火薬の歴史書——その起源から近代的ロケットの誕生まで

著者：西條寿雄

[iTunes Store] <http://itunes.apple.com/jp/app/rokettoto-huo-yaono-li-shi-shu/id512901460?mt=8>

◆内容紹介

ウィキペディアの参考図書となった幻の名著『日本ロケット物語』で名高い執筆者が大幅に加筆し、初の電子書籍化した「ロケットと火薬の歴史」に関する専門書。

本書は、一般書で論じられるロケットの「通説」を論破する歴史研究成果をまとめています。

+++++

◆第1巻

ロケットの誕生と火薬の起源

- ・ロケット発祥地「中国説」への疑問
- ・古代中国では、火薬は不老長寿薬だった！
- ・卑弥呼(日女命)と鬼道(道教)と呪術(火術と火薬)
- ・「粗製火薬」から「黒色火薬」へ

中国の火器発達史

- ・はたして「火箭力セン(ヒヤ)」は最初のロケットか？
- ・ロケット以前の火薬利用兵器

中国のロケット発達史

- ・15世紀の中国ロケットは架空の產物か？
- ・16世紀中国ロケットの実戦使用記録
- ・『武備火竜經』について
- ・豊臣秀吉朝鮮出兵当時のロケット式火箭
- ・16世紀の朝鮮王朝のロケット兵器
- ・「ロケットの創始」より汴京戦説について

◆第2巻

アラブ・イスラム圏の火器発達史

- ・アラブ・イスラム圏の火薬兵器前史
- ・中国からの火薬の伝来

ヨーロッパの火器発達史

- ・13世紀の元軍遠征による火薬の伝来
- ヨーロッパのロケット発達史
- ・世界最初のロケット実戦記録(14世紀)
- ・ロケット部隊の登場(15世紀)
- ・世界各地に広まるロケット(17世紀以降)
- ・インド・ムガル帝国のロケット兵器
- ・世界各地に広まるロケット(19世紀以降)
- ・火薬ロケットの飛躍的性能向上(19世紀)
- ・兵器以外のロケットの発達

+++++

(以下、5月末刊行予定)

第3巻『液体推進剤ロケット発達史』

第4巻『日本のロケット黎明期』

◆著者プロフィール

西條寿雄

1954年宮城県生まれ。1977年名城大学理工学部I部交通機械学科卒業。

現職は自動車エンジニア。日本モデルロケット協会理事・技術委員。

著書に『日本ロケット物語』(三田出版会／1996年)、『新版・日本ロケット物語』(誠文堂新光社／2003年)、『飛ばせ！手作りロケット』(誠文堂新光社／2003年)がある。

◆EbAJの関連書籍

☆☆★ 歴史好き必見！マニアから初心者までお楽しみいただけます！！『異説・真説 大日本史』

[iTunes Store] <http://itunes.apple.com/jp/app/yi-shuo-zhen-shuo-da-ri-ben-shi/id426345790?mt=8>

☆★★意外にも広辞苑はおもしろ雑学の宝庫だった！『ツッコミ雑学「あにはか広辞苑」』

[iTunes Store] <http://itunes.apple.com/jp/app/tsukkomi-za-xue-anihaka-guang/id490082112?mt=8>

◆お問い合わせ先

イーブック・アソシエーション・ジャパン株式会社

<<電子書籍の編集・製作・流通・販売のプロフェッショナル集団です>>

■代表者名 清水 武

■所在地 東京都千代田区神田神保町1-32 やまかわビル2階

■電話番号 03-3233-7533

■URL <http://www.ebook-association.jp/>

■当書籍に関するお問い合わせ http://www.ebook-association.jp/?page_id=31



ロケットと火薬の歴史書

—その起源から
近代的ロケットの誕生まで

I

西條寿雄



1 / 20



6 / 14



豊臣秀吉朝鮮出兵当時のロケット式火薙

ロケット式火薙の正確な実戦使用記録は朝鮮側に残っている。豊臣秀吉の命により、明を征服する目的で朝鮮半島を侵略した日本軍に対して、明および朝鮮の連合軍は各種の火器で応戦している。この一連の戦いは、朝鮮側で「壬辰倭乱」イムジンウエランと呼び、日本側は「文禄の役」と称している。その中に火薙、神機箭、火車（朝鮮名、明の呼称は架火戦車）等といったロケット式火薙が大量に使用されている。

ロケット部隊の登場（15世紀）

15世紀になると、ドイツのコンラード・フォン・アイシュテートが、1405年に出版した『戦闘術』という書物の中で「垂直に上昇するロケット」、「水平に飛行するロケット」、「索に添って走るロケット」について記述している。1420年には、イタリア人ジョアネス・デ・フォンタナが「ロケット水雷」や「ロケット飛行機」の想像図を発表している。1429年には、フランスで「ロケット部隊」が初めて編成され、パリの南50km「オルレアンの防衛戦」でイギリ

16世紀のもので、スウェーデンのストックホルムにあるクングリガ軍事博物館所蔵の火砲とロケットのハイブリッド型のものが知られている。

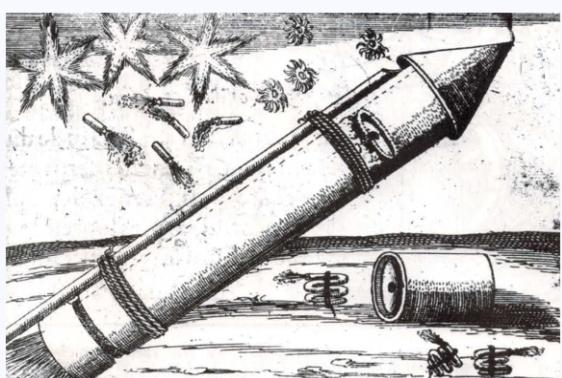


図6 銅版画に描かれたヨーロッパのロケット（1620年）



15 / 20



6 / 14

